

構造種別比較

- ①建物用途に対する適合構造形式であること。
- ②耐震性能が高いこと。
- ③経済性に配慮できること。
- ④施工性に配慮(指定工期内で納まる)できること

凡例 ◎:最良 ○:良好 △:普通 ×:不可

選択項目	構造種別 検討建物 条件	鉄筋コンクリート造		鉄骨鉄筋 コンクリート造		鉄骨造		
		RC		SRC		S		
A 適用空間	1. 可能スパン: L_1	$L_1 = 15\text{m}$ 程度	$L_1 \leq 10\text{m}$ (プレストレス導入の必要あり)	△	$10\text{m} < L_1 < 20\text{m}$	○	$L_1 < 30\text{m}$	◎
	2. 免震構造との組み合わせ	上部構造の剛性確保	優れている (耐震壁が必要)	◎	優れている (耐震壁が必要)	◎	上部構造の剛性確保のためにブレース等の設置の可能性あり	○
B 建物の構造性能	3. 耐久性能	曲げひび割れ防止	ひび割れの発生可能性大きい	△	ひび割れの発生可能性小さい	○	ひび割れの発生はない	◎
	4. 耐火性能	不特定多数の安全確保	良い	◎	良い	◎	耐火考慮必要	○
	5. 耐震安全性	重要度係数 = 1.5	最良	◎	最良	◎	最良	◎
	6. 振動障害	不快感、不安感の防止	ない	◎	ない	◎	鉄骨断面で対応可能	○
	7. 遮音防音性能	反射音、透過音、音圧	良い	◎	良い	◎	仕上げによる	○
	8. 平面形	任意形状(三角形)	配筋上任意形状は難しい	×	配筋の工夫次第で任意形状可	○	任意形状可	◎
	9. 立面形	整形	規則形状が望ましい	○	規則形状が望ましい	○	任意形状可	◎
C 施工性	10. 現場作業量	省力化、合理化	やや多い	○	多い	△	少ない	◎
	11. 施工管理	施工性	難しい	×	やや難しい	△	容易	◎
	12. 工程管理	短工期	やや容易	△	やや容易	△	容易	◎
	13. 工期	短工期	普通	○	遅い	△	早い	◎
D 経済性	14. コスト	経済的コスト	-	-	-	-	-	-
判定		△		○		◎		

以上の点から 本建物は、S造の特色を考慮した架構形式が最良と判断される。